

平成22年度「専修学校留学生総合支援プラン」成果報告書

事業名	地域の人材ニーズに対応した外国人留学生の就職支援プログラムの開発と活用		
法人名	社団法人東京都専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	会長 小林光俊	担当者 連絡先	有我明則
1. 事業の目的・概要等			
<p>今年度の「留学生総合支援プラン」では昨年度実施した内容を踏まえ、それぞれの対象に応じた研修や講座の実践と成果を周知することにより留学生の日本就労環境の構築を目的とした。</p> <p>今回は大きく2つの事業から構成し、それぞれの目標達成に向けて、地域社会の協力を得ながら専修学校全体が取り組む事業として実施した。</p>			
<p>1. 高度人材養成プログラム</p> <p>このプログラムは、留学生に対し多岐にわたる学習機会を提供すると同時に、学校教職員や企業関係者に対して啓発を中心とした研修・講座を開催した。また、経済団体等の協力を得た就労機会の提供、総合相談窓口の設置など様々な方面から留学生の日本就労促進と就職支援を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教職員対象研修では、留学生の日本国内での就職実績の少ない学校や指導経験の浅い担当者を対象に在留（就労）資格取得に関する法令解説や企業ニーズの現状などの情報提供を通じて専修学校全体の指導体制強化を図った。 (2) 産学合同講座では、教育機関ならびに企業関係者を対象に教育機関の指導事例や企業の雇用事例、意見交換を通じ留学生の就職に関する意識向上を図った。 (3) 採用啓発講座では、企業を対象に採用実績企業の事例や関係法令を解説しながら外国人留学生の採用啓発を図った。 (4) 高度人材養成講座では、日本で就労を希望する外国人留学生を対象に、専門性の高い技術・知識の獲得に加え実社会で要求される実践レベルの日本語能力向上を目指した就職支援を行った。 (5) 就職活動機会の提供では、採用予定企業の協力を得て、受け入れ企業と留学生のマッチングを目指す就職説明会を開催した。 (6) 日本での就労を希望する留学生、採用を検討する企業に対して電話やメールで対応する総合窓口を常設した。 			
<p>2. 実践的就職支援プログラム</p> <p>このプログラムでは、法令解説のほか心構え、面接対策、マナー講習など東京都内及び関東近県の日本就労を目指す留学生を対象とした就職活動の基礎知識を習得する講座を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 留学生対象の就職支援講座では、行政書士による就労資格取得までの法令解説や、心構え・面接・試験対策・マナー講習など就職活動の基礎知識を提供し、日本に 			

おける就職状況の厳しさと実現のための学習目標を提示した。

(2) 調査研究

昨年度の事業参加者にヒアリング調査を実施し、事業運営の参考ならびに事業効果を測定した。本年度の参加者アンケートを通して傾向や今後のニーズを探った。

2. 事業の実施に関する項目

1. 高度人材養成プログラム

(1) 専修学校教職員対象「留学生就職指導等担当 初任者対象研修会」

この講座では、留学生の日本国内における就職実績の少ない学校、指導経験の浅い教職員を対象に、在留資格に関する法令解説を中心として国内での留学生の就職状況、企業ニーズの現状といった情報を提供した。

<実施内容>

時間数	4 時間	定 員	30 名
内 容	・ 高等教育機関における外国人留学生の現状 ・ 企業ニーズと就職の実際 ・ 留学生の就労に関する在留資格手続きの基礎		
日程・場所			
第 1 回	平成 22 年 7 月 14 日 (水) アルカディア市ヶ谷私学会館		

(2) 産学合同講座「外国人留学生採用促進産学合同セミナー」

この講座では、留学生の就労に携わる企業、学校の担当者を中心にそれぞれの事例報告や意見交換を通じ留学生の就職に関する意識向上を図った。

<実施内容>

時間数	4 時間	定 員	企業担当者 70 名 学校関係者 80 名
内 容	・ 高等教育機関における外国人留学生の現状 ・ 日本就職を目指す留学生への指導事例報告 (1) ・ 日本就職を目指す留学生への指導事例報告 (2) ・ 外国人留学生の採用および雇用事例報告 (1) ・ 外国人留学生の採用および雇用事例報告 (2) ・ 情報交換会		
日程・場所			
第 1 回	平成 22 年 11 月 16 日 (火) アルカディア市ヶ谷私学会館		

(3) 採用啓発講座「外国人留学生採用促進セミナー」

この講座では、企業を対象に外国人採用促進のため、採用実績企業の事例や関係法令を紹介しながら、広く留学生採用の啓発を図った。

<実施内容>

時間数	4時間	定員	各50名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育機関における外国人留学生の現状 ・外国人留学生の採用および雇用事例報告(1) ・外国人留学生の採用および雇用事例報告(2) ・外国人雇用の際の在留資格手続き 		
期間・場所			
第1回	平成22年7月7日(水) アルカディア市ヶ谷私学会館		
第2回	平成22年10月29日(金) 福岡・九州英数学館国際言語学院		
第3回	平成22年12月8日(水) 神奈川・崎陽軒		
第4回	平成23年1月19日(水) アルカディア市ヶ谷私学会館		

(4) 留学生対象「高度人材養成講座」

この講座では、企業関係者の協力のもと実習を取り入れるなどし、それぞれの分野における専門知識や技術の向上に加え、日本独特の文化・商習慣に関する等も科目に取り入れ、具体的な就職指導とともに総合的な支援を行う4講座を実施した。特に本年度は「ビジネス日本語」に特化した50時間の講座を実施した。

<実施内容>

総時間数	時間	定員	各講座20名
内容	分野	科目の内容	時間
	IT分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ITスキルを持った人材の育成 ・日本での就職に必要な高度なビジネス日本語能力の向上 ・日本での商習慣や面接対策、マナー講座 	50時間
	観光・ホテル・ホスピタリティ分野	<ul style="list-style-type: none"> ・高いホスピタリティ能力を持った人材の育成 ・日本での就職に必要な高度なビジネス日本語能力の向上 ・日本での商習慣や面接対策、マナー講座 	60時間
	ファッション分野	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション産業の発展にかかわる国際人材の育成 ・日本での就職に必要な高度なビジネス日本語能力の向上 ・日本での商習慣や面接対策、マナー講座 	52時間
	ビジネス日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・日本での就職に必要な高度なビジネス日本語能力の向上 ・日本での商習慣や面接対策、マナー講座 ・STBJ標準ビジネス日本語テスト 	50時間
開講講座と期間・場所			
IT分野	平成22年10月2日(土)～平成22年12月18日(土) 日本工学院専門学校		
観光・ホテル・ホスピタリティ分野	平成22年10月9日(土)～平成22年12月11日(土) 日本外国語専門学校		
ファッション分野	平成22年8月3日(火)～平成22年9月2日(木) 文化服装学院		
ビジネス日本語	平成22年9月14日(火)～平成22年12月9日(木) 代々木研修室		

(5) 就職活動機会の提供「アジア人材就職・転職説明会」

留学生採用を予定している企業と留学生が直接対面、個別相談できる場として就職説明会を開催した。留学生の就職実績の拡大を目指すとともに、事業広報を通じて留学生の積極的な採用促進、日本と母国を繋ぐブリッジ人材の養成等広く社会にアピールする機会とした。

<実施内容>

日時	平成22年8月28日(土) 10:30~16:30 平成23年2月26日(土) 10:30~16:30
場所	東京都立産業貿易センター(8月) 東京国際フォーラム(2月)
内容	1) 各企業ブースでの会社説明, 面接会 2) 就職ガイダンス ・就職セミナー「説明会オリエンテーション~希望する企業を効率よく回るために」 「日本での就職活動について」 「日本留学経験を活かした母国での就職について」 「在留資格変更について」 ・就職/転職に関する相談 ・行政書士による在留資格の取得, 変更, 高進などに関する個別相談 ・総合相談

(6) 総合相談窓口の設置

就職相談窓口を常設し専用電話やメールによる就労相談を実施した。

※留学生・企業 就労前後に直面する問題に対応、さらに別途上記就職説明会において行政書士による在留資格手続き等の無料相談ブースを設けた。

2. 実践的就職支援プログラム

(1) 留学生対象の就職支援講座「留学生のための就職対策集中講座」

この講座では、行政書士による就労資格取得までの法令解説、日本における就職活動の基礎、ビジネス文書作成などの演習など短期の基礎講座を実施した。

<実施内容>

時間	4時間	定員	各講座30名
内容	基礎編	留生の就職状況について/就職活動の流れの確認/就職のための心がまえ/自己分析の実施/自己PRシート作成/履歴書の基本と書き方の実践/面接のポイントと実践	
	ビジネスマナー編	社会人としてのマナー、ルール、モラルについての確認/ビジネスに必要な文書作成の実践/ビジネスに必須な会話表現の確認/日本の会や企業文化、習慣の知識	
	ビジネス日本語編	敬意表現の基礎/尊敬語と謙譲語/SBJ標準ビジネス日本語テストを利用した総合なビジネス日本語能力測定	
	就労ビザに関する在留資格知識向上編	在留資格変更のポイント/留学生に与えられている就職活動期間および企業活動について/入管申請書記入の注意点/申請事例と質疑応答	
開講講座と日程・場所			

基礎編	平成22年8月30日(月) 東京ウィメンズプラザ 平成22年9月27日(月) 代々木研修室 平成22年10月19日(火) 岩崎学園
ビジネスマナー編	平成22年8月31日(火) 東京ウィメンズプラザ 平成22年9月28日(火) 大宮ソニックシティ 平成22年10月28日(木) バーディホテル千葉
ビジネス日本語編	平成22年8月26日(木) 代々木研修室 平成22年12月9日(木) 代々木研修室
就労ビザに関する 在留資格知識向上編	平成22年8月27日(金) 東京ウィメンズプラザ 平成22年10月15日(金) 東京ウィメンズプラザ

(2) 調査研究

関東近県から参加した高度人材養成プログラムならびに実践的就職支援プログラムの受講生に対し、就職活動の状況等に関する実態調査を実施。

また昨年度の各事業参加者に対し、ヒアリング調査を行い効果を測定した。

②受講者の募集方法(手法・期間・効果)

受講生の募集に関しては、主に講座ならびに対象別にリーフレットを作成し、郵送などにより配布し周知した。申し込みは参加者の利便性を考えFAX、インターネット、携帯サイトから申し込み可能とした。

留学生向け講座に関しては学校にリーフレットを送付したほか教職員対象研修会等にて告知し、日本留学を希望する留学生へ受講の働きかけを依頼した。

企業に関しては外国人採用に積極的と思われる企業へのDMのほかメールマガジンやFAXを利用した。また、企業人事担当が活用するインターネットサイトへのバナー広告を実施したところ、それまでに比べて参加者が増加した。

就職説明会について、実施の周知は過去の参加者アンケートを参考に媒体を選定し告知した。出展企業については留学生受け入れ実績のある企業と採用促進講座の参加企業を中心に参加を働きかけた。さらに出展募集のリーフレットを作成し、企業訪問を行うなど積極的に働きかけたところ、それまでの倍近い企業から出展の申し込みがあり、当初予定した会場を変更するほどの規模となった。

③受講者の概要

留学生向け講座については実施時期の遅れもあり翌年から日本就職に向けた活動を開始する学生が多くを占め、出身国も留学生の多い中国・韓国・台湾からの学生が中心となった。

教職員向け講座は特に「経験の浅い初任者」と対象を絞ったが、定員の倍近くから受講希望があり会場を変更して実施することとなった。企業向け研修は実施当初中心となっていたIT企業だけでなく、製造業・サービス分野を職種が多岐にわたり、それまでになく大手企業からの参加もあった。

<参加概況と評価>

内容	対象	申込者	参加者	修了者/アンケートの回収率	満足度
<高度人材養成プログラム> 留学生就職指導初任者 向け研修（1回実施）	専修学校教職員	60校68名	51校56名	回収率93%	5：51% 4：37% 3：8% 2，1：0 無回答：4%
<高度人材養成プログラム> 外国人留学生採用促進 産学合同セミナー（1回実施）	企業人事担当者 学校関係者	企業 43社56名 学校 91校115名	企業 35社43名 学校 83校106名	企業 86% 学校 79%	5：56% 4：87% 3：39% 2，7% 1：0 無回答：11%
<高度人材養成プログラム> 外国人留学生採用促進 セミナー（4回実施）	企業人事担当者	161社182名	110社119名	回収率84%	5：33% 4：48% 3：10% 2：3% 1：0 無回答：6%
<高度人材養成プログラム> 高度人材養成講座 （4講座実施）	卒業後、日本で 就職を希望する 留学生	88名	84名	76名 回収率68%	5：64% 4：30% 3：2% 2：4% 1：0
<高度人材養成プログラム> アジア人材就職・転職説明会 （2回実施）	卒業後、日本で 就職を希望する 留学生		出展企業 193社 参加学生 4,603名		5：32% 4：32% 3：30% 2，1：3 無回答：6%
<実践的就職支援プログラム> 留学生のための 就職対策集中講座 （4講座各2・3回実施）	卒業後、日本で 就職を希望する 留学生	81名	47名	回収率94%	5：41% 4：34% 3：13% 2，1：0 無回答：11%

* 満足度は5段階（5役に立った — 役に立たなかった1）で調査

* 「アジア人材就職・転職説明会」の満足度は第1回目（8月実施）の参加者の回答

④受講者・企業の意識調査等

各講座、研修にあたっては事前調査の結果をもとに実施内容についてじゅうぶんに検討したため、すべての講座においてほぼ「満足」との評価を得ることができた。特に、教職員・企業対象の研修においては指導事例・採用事例が参考になったとの意見が数多くあった。また、行政書士による法令解説も具体的でわかりやすい、と評価が高かった。

留学生向けの講座については現在活動中の学生はもとよりこれから活動を開始する学生にとっては今後の活動に意欲的に取り組むきっかけ作りとしても役立っていることがうかがえた。意見・感想の自由記述には研修内容のうち、特に役に立った箇所を具体的に挙げている回答が多かった。特に今年度から実施した50時間の「ビジネス日本語講座」は実践的で継続的な実施を希望する声が多かった。

夏冬の2回実施した就職説明会では出展企業の説明を熱心に聞き入る学生でブースがあふれるほどの大変な盛況となり、各セミナーでは立ち見もあり、や行政書士による無料相談窓口にも来場者が順番待ちをしていた。

3. 事業の評価に関する項目

①当初目的の達成状況

留学生が企業に接する直接の機会となる就職説明会の出展企業数を大幅に増やすことができたのは「外国人留学生採用促進セミナー」を継続的に実施することで企業の留学生就職に対する理解を深めたためである。セミナーの企業参加110社、そのうち約8割が「役に立った」という高い数字を獲得することができ、企業啓発という当初の目的を達成することができた。

また、従来留学生の就職支援は留学生数が多い大規模校や就労ビザ取得が比較的容易な一定の分野を持つ専門学校に限られていたが、協会として初めて留学生や学校教職員に対する研修や講座を実施することにより、多様な分野の学校から参加を得たため、全体的な支援に対する意識の底上げを図ることができた。

留学生に対する講座についても日本就労、就職活動への意識付けを行うという点で目的を達成することができた。

②事業の成果及び改善点

主な成果は以下の通り

1. 留学生の国内就職への意欲向上と実践的な技能・技術の獲得
2. 専門学校の就職担当者への意識付け
3. 企業啓発

1.に関して、本年から新規で実施した50時間の「ビジネス日本語講座」については受講生の満足度が特に高く、長時間の実施を希望する者や社会に出ても継続的に実施を希望する意見もあった。1日4時間の「就職対策講座」についてはすべての講座について定員割れという残念な結果となった。在籍校で行っている対策講座との差別化ができず、対象者の興味を引くことができなかつたためと思われる。

2.3については学校・企業とも多くの分野と職種に分かれたよりきめ細かいセミナーの実施を希望する声もあった。今後の課題とするとともに常設している相談窓口を広く周知し、個別対応できる体制を充実させたい。

昨年の事業参加者に対してのヒアリング調査を通じて企業の留学生採用、また留学生の内定獲得などの事業実施に対する成果を確認することができた。今後も継続的に実施することで支援体制の強化を図り、留学生の国内就職を実現させたい。

③次年度以降における課題・展開

昨年と今年度の受講生には引き続き追跡調査を実施し、講習の成果を確認したい。受講生の中にはすでに就労を果たしている者がいるのでヒアリング調査を実施し、日本における外国人留学生の就労に関する問題点や課題なども提示したいと考えている。

今回の就職説明会出展企業に対しては採用実績を調査し、事業効果を確認する。

講座内容も今回のアンケート調査を踏まえ、特に「実践的就職支援プログラム」については内容の見直しとともに実施時期や時間帯等受講しやすい計画を立てて早い時期に周知する。「ビジネス日本語」については周知方法について工夫し、希望する留学生の早い段階での受講を働きかけていきたい。

学校担当者向けの研修も対象別や分野毎の事例発表を検討し、指導体制強化の支援を行う。特に入管法改正後の状況については法令解説や事例紹介を取り入れ、支援体制の底上げを図る。

留学生に対する国内就職のための支援は始まったばかりであり、就労支援システムを構築するとともに支援プログラムの内容と実施講座数の充実を図り、さらに対象地域を広げることが目標とする。

④成果の普及

事業内容については「成果報告書」にまとめ、研修・講座に参加した企業ならびに学校を中心に計584件に配布した。

さらに本年度事業の内容はHP (<http://rshien.e-ouen.jp/>)に掲載し閲覧可能とした。